

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	建設製図 I
科目基礎情報						
科目番号	0004		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建設システム工学科		対象学年	1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	藤木庸介「名建築で学ぶ建築製図」 (学芸出版)					
担当教員	尾上 亮介					
到達目標						
1 製図用具の特性を理解し、使用できる 2 線がかき分けられる 3 各種図面の意味を理解し、描ける 4 図面の種類別の各種図の配置を理解している 5 図面の尺度・縮尺について理解し、作図できる 6 建築図面を模写し、模写した図面を理解している 7 立体的な発想と表現の方法を理解している						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	正確に製図用具の特性を理解し、使用できる		適切に製図用具の特性を理解し、使用できる		製図用具の特性を理解し、使用できない	
評価項目2	正確に線がかき分けられる		適切に線がかき分けられる		線がかき分けられない	
評価項目3	正確に各種図面の意味を理解し、描ける		適切に各種図面の意味を理解し、描ける		各種図面の意味を理解し、描けない	
評価項目4	正確に図面の種類別の各種図の配置を理解している		適切に図面の種類別の各種図の配置を理解している		図面の種類別の各種図の配置を理解していない	
評価項目5	正確に図面の尺度・縮尺について理解し、作図できる		適切に図面の尺度・縮尺について理解し、作図できる		図面の尺度・縮尺について理解し、作図できない	
評価項目6	正確に建築図面を模写し、模写した図面を理解している		適切に建築図面を模写し、模写した図面を理解している		建築図面を模写し、模写した図面を理解していない	
評価項目7	正確に体的な発想と表現の方法を理解している		適切に体的な発想と表現の方法を理解している		体的な発想と表現の方法を理解していない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (C) 学習・教育到達度目標 (D)						
教育方法等						
概要	建設に必要な製図に関する基礎的な知識、方法を学習し、理解することを目的とする。					
授業の進め方・方法	【授業方法】 ・毎週課題に取り組む。 ・教科書及び配布プリントにより授業を進める。 ・演習を中心に進める。 【学習方法】 ・演習授業のため、授業内で分からないことは各自質問すること。 ・黒板で解説した内容はノートを取ること。 ・課題ごとに提出を行う。					
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 提出物による評価を行う (100%)。 提出物の完成度、製図法の理解を評価基準とする。 【備考】 身の回りにある土木建造物、建築の形やスケールを観察して下さい。 【教員の連絡先】 研究室 A棟3階 (A-306) 内線電話 8963 e-mail onoeアットマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること)					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	製図の書き方1 オリエンテーション, 道具の使い方		1	
		2週	製図の書き方2 線の引き方1		2	
		3週	製図の書き方3 線の引き方2		2	
		4週	製図の書き方4 縮尺, 平面図, 立面図を理解		3, 4, 5	
		5週	製図の書き方5 立体の三面図1		3, 4, 5	
		6週	製図の書き方6 立体の三面図2		3, 4, 5	
		7週	製図の書き方7 立体の三面図3		3, 4, 5	
		8週	製図の書き方8 立体の三面図4		3, 4, 5	
	4thQ	9週	製図1 アイソメトリック図1		7	
		10週	製図2 アイソメトリック図2		7	

		11週	製図3 アイソメトリック図3	7
		12週	製図4 アクソノメトリック図	7
		13週	製図5 平面図	6
		14週	製図6 断面図	6
		15週	製図7 立面図	6
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	製図	線と文字の種類を説明できる。	3	後2,後6
				平面図形と投影図の描き方について、説明できる。	3	
		建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	3	後1
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	3	後2,後3
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	3	後4,後5,後6,後7,後8,後13,後14,後15
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	3	後4,後5,後6,後7,後8,後13,後14,後15
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	3	後4,後5,後6,後7,後8,後13,後14,後15
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	3	後4,後5,後6,後7,後8,後13,後14,後15
				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	3	後9,後10,後11,後12

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	100	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0